

【学校の教育目標】
進んで学び たくましく 未来を拓く子

研究主題 **生き生きと追究する児童の育成**



牛牧小学校の「生き生きと追究する」姿

理科：解決の見通しをもち、追究の過程を振り返りながら粘り強く追究する姿
生活科：自らの願いを実現するために主体的に活動する姿

【児童の実態】

- 学習の進め方が分かり、意欲的に問題解決や願いに向けて取り組むことができる。
- 自ら問題を見つけたり、問題解決を行ったりする意識や姿勢が見られるようになってきた。
- 問題やめあてに対して自分なりの根拠や願いをもって考えを言葉や図、作品として表現できるようになってきた。
- 解決の見通しをもって粘り強く試行錯誤し追究する姿に弱さがある。
- 自分が考えたことを、自信をもって伝えることに弱さがあり、仲間と考えを深め合うことが弱い。
- 考えたことや学んだことを生活経験に結び付けて考える児童が少ない。
- 追究する過程で、自己の変容を自覚する姿が弱い。

【目指す児童の姿】

- ・自然事象から問題を見だし、見通しをもって粘り強く追究する姿
- ・問題解決の過程の中で、柔軟に発想し、見方・考え方を働かせたり（理科）、生かしたり（生活科）しながら問題を追究する姿
- ・仲間と交流しながら、自分の考えを広げ、深め、より確かな結論やよりよい生活を求める姿
- ・学んだことを身の回りの自然事象に適用したり、別の事象に当てはめたりして学びを広げようとする姿
- ・学びの変容を自覚する姿

【理科部研究テーマ】

問題を科学的に解決する児童の育成

～事物・現象から問題を見だし、見通しをもって追究できる授業づくり～

【生活科部研究テーマ】

思いや願いを実現し、よりよい生活を創り出そうとする児童の育成
～仲間と学び合い、気付きの質を高める授業づくり～

【理科 研究仮説】

自然に対して問題を見だし、理科の見方・考え方を働かせながら、解決の見通しをもとに問題を解決できるような指導過程や手立てを工夫すれば、問題を科学的に解決しようとする児童が育成されるはずである。

【生活科 研究仮説】

身近な生活に進んで関わり、児童が身近な生活に関わる見方・考え方を生かしながら主体的に学習を進められるよう、教師が適切な働きかけを行えば、よりよい生活を創り出そうとする児童が育成されるはずである。

【研究内容1】安心して学べる指導の工夫

- (1) 児童との学び方の共有

【研究内容1】安心して学べる指導の工夫

- (1) 児童との学び方の共有

【研究内容2】単元構想の工夫

- (1) つけたい資質・能力の明確化
- (2) 単位時間の役割の明確化

【研究内容2】単元構想の工夫

- (1) 自分の願いを生み出す指導の工夫
- (2) 単位時間の役割の明確化

【研究内容3】単位時間の指導過程の工夫

- (1) 児童の疑問を引き出し、主体的な追究を促す指導の工夫
- (2) 深い学びを生み出す指導の工夫

【研究内容3】単位時間の指導過程の工夫

- (1) 児童の意欲を引き出し、主体的な活動を促す指導の工夫
- (2) 深い学びを生み出す指導の工夫